報道関係者各位

2026 年 11 月 24 日
株式会社東陽テクニカ

東陽テクニカ、放射線測定装置メーカーのアロカ株式会社を子会社化

～ 放射線計測分野を新たな事業セグメントとして取得
安定収益基盤を有し、エネルギー・医療分野でのさらなる成長を目指す ～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：高野(こうの) 俊也(としや))は、2026 年 11 月 24 日付けで、放射線測定装置メーカーであるアロカ株式会社(本社：東京都武蔵野市、以下 アロカ)の全株式を取得し、子会社化したことをお知らせします。

東陽テクニカは、中期経営計画"TY2027"において、M&A を成長戦略の重要施策の一つと位置付けています。このたび子会社化したアロカは、放射線測定装置の開発・製造・販売・保守を手がける国内有数の専業メーカーであり、放射線計測分野において高い技術力と顧客基盤を有しています。東陽テクニカは本株式取得を通じて、"TY2027"の中核戦略である自社オリジナル製品比率の向上およびリカーリングビジネスの推進、海外事業の拡大を促進するものです。放射線計測事業という新たな事業の柱を加え、持続的な成長と企業価値向上を目指してまいります。なお、アロカは東陽テクニカグループにおいて売上高ベースで最大規模の子会社となります。

ALOKA

【 背景/概要 】

アロカは、1950 年に創業し、1954 年に放射線測定事業を開始して以来、70 年以上にわたって放射線測定装置の開発・製造を手がけています。原子力関連施設の敷地内および周辺で環境放射線を常時監視する環境モニタリングポストや、放射性同位元素(RI)を利用する医療・研究施設などで人や施設周辺の放射線管理を総合的に行う RI モニタシステムをはじめ、サーベイメータ、個人被ばく線量計、放射能測定装置まで幅広い製品を自社で開発・製造し、展開しています。官公庁、自治体、医療機関、研究機関などを主要顧客とし、主要製品領域で高い市場シェアを有し、国内市場で確固たる地位を築いています。

また、全国 15 か所の支店・営業所と放射線測定器校正施設「入間計測センター」を拠点に、製品の保守・点検・校正などのサービスも展開しています。長年にわたって構築してきた顧客基盤と、製品販売から保守サービスまでを一貫して提供する事業モデルにより、継続性の高い収益基盤を構築していることも大きな特長です。

放射線測定装置は、原子力関連施設の安全運用、医療・核医学分野における放射線利用の拡大、防衛・国土安全保障分野での放射線検知などに不可欠なインフラであり、法令への対応や測定精度の維持のため、継続的な点検・校正需要も存在します。こうした背景から、放射線計測市場は中長期的な事業機会の拡大が見込まれています。

東陽テクニカは、アロカが有するメーカーとしての高い技術開発力、市場競争力、継続的な保守サービス収益、そして今後の成長が見込まれる市場への発展性を評価し、このたび子会社化を決定しました。"はかる"技術のリーディングカンパニーを掲げる東陽テクニカグループにおいて、アロカの計測事業モデルは高い親和性があり、両社の

株式会社 東陽テクニカ www.toyo.co.jp
〒103-8284 東京都中央区八重洲1-1-6 本社(代表)TEL 03-3279-0771
大阪支店 TEL 06-6399-9771 / 名古屋支店 TEL 052-253-6271 / 宇都宮営業所 TEL 028-678-9117

シナジーを発揮することで、計測市場でのさらなるプレゼンス向上を図ります。

東陽テクニカグループとしては本格的な計測器メーカーの取得は初めてであり、アロカのものづくりノウハウを活用し、自社オリジナル製品の拡大を促進するとともに、製品開発・生産の中核と位置づけ、その機能を強化してまいります。

【 成長市場への取り組みを加速 】

世界的に原子力発電の活用が広がり、国内でも原子力発電所の再稼働や関連施設の更新が検討されるなか、施設の安全で安定した運用を担う放射線計測技術の重要性は一層高まっています。アロカの製品とサービスはその重要な役割を担い、社会インフラとしての電力の安定供給に貢献します。

医療分野においては、放射性医薬品を用いた核医学診断や、診断と治療を一体的に行う「セラノスティクス※」などの普及が期待されており、放射線計測技術の重要性は今後さらに高まると見込まれます。アロカの技術を活用し、次世代がん治療を含む先進医療分野の発展にも貢献してまいります。

さらに将来的には、AIデータセンターの普及などによる電力需要増加への対応策として期待される核融合発電分野においても、放射線計測技術を活用した事業機会の創出を目指します。

これらの製品・ソリューションを国内だけでなく、東陽テクニカグループの海外販売網も活用することで海外市場に積極的に進出し、販売拡大を目指します。

今後も持続的な成長と企業価値向上を図るとともに、安全・安心な社会インフラの維持や先進医療の発展に貢献してまいります。

※セラノスティクス：治療(Therapeutics)と診断(Diagnostics)を組み合わせた造語。診断用と治療用の放射性医薬品を組み合わせ、診断から治療までを一体的に行う手法

【 アロカ株式会社概要 】

- 名称：アロカ株式会社
- 所在地：東京都武蔵野市中町 1-20-8 大樹生命三鷹ビル 2F
- 代表者の役職・氏名：代表取締役社長 生島 聡
- 事業内容：放射線測定装置の製造・販売・保守
- 設立：2021 年 11 月 18 日(創業年：1950 年)
- 資本金：100,000 千円
- 従業員数：259 名(2026 年 3 月末)
- 売上高：7,936 百万円(2025 年 12 月期)
- 営業利益：948 百万円(2025 年 12 月期)
- 公式 Web サイト：https://www.aloka.co.jp/

株式会社 東陽テクニカ www.toyo.co.jp
〒103-8284 東京都中央区八重洲1-1-6 本社（代表）TEL 03-3279-0771
大阪支店 TEL 06-6399-9771 / 名古屋支店 TEL 052-253-6271 / 宇都宮営業所 TEL 028-678-9117

【 取扱い製品(一例)】



・環境放射線監視システム モニタリングポスト

原子力関連施設の敷地内や周辺の環境放射線を常時監視するシステム。

https://www.aloka.co.jp/radiation/monitoringpost/monitoringpost/

・放射線管理総合システム(RI モニタ)

放射性同位元素(RI)や放射線を研究・診療などのために利用する放射線施設において、環境・人・物の放射線管理を総合的に行うシステム。

https://www.aloka.co.jp/radiation/system/

・サーベイメータ

空間放射線量や放射能汚染箇所の測定などを行う、手持ち可能な測定器。

https://www.aloka.co.jp/radiation/surveymeter/

・放射能分析装置

主に研究・開発用途で、対象物に含まれる放射能やガンマ線を測定する装置。

https://www.aloka.co.jp/radiation/detector/

＜株式会社東陽テクニカについて＞

東陽テクニカは、最先端の"はかる"技術のリーディングカンパニーとして、技術革新を推進しています。その事業分野は、脱炭素／エネルギー、先進モビリティ、情報通信、EMC、ソフトウェア開発、防衛、情報セキュリティ、ライフサイエンス、量子ソリューションなど多岐にわたり、クリーンエネルギーや自動運転の開発などトレンド分野への最新計測ソリューションの提供や、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力しています。新規事業投資やM&A による成長戦略のもと国内外事業を拡大し、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：https://www.toyo.co.jp/

株式会社 東陽テクニカ www.toyo.co.jp
〒103-8284 東京都中央区八重洲1-1-6 本社（代表）TEL 03-3279-0771
大阪支店 TEL 06-6399-9771 / 名古屋支店 TEL 052-253-6271 / 宇都宮営業所 TEL 028-678-9117

★　本件に関するお問い合わせ先　★

株式会社東陽テクニカ　経営企画部　広報・IR グループ
TEL：03-3279-0771(代表)　E-mail：marketing_pr@toyo.co.jp

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。

株式会社 東陽テクニカ　www.toyo.co.jp
〒103-8284 東京都中央区八重洲1-1-6　　本社（代表）TEL 03-3279-0771
大阪支店 TEL 06-6399-9771 / 名古屋支店 TEL 052-253-6271 / 宇都宮営業所 TEL 028-678-9117